

事務連絡
令和5年1月1日

会員各位

一般社団法人長野県理学療法士会
会長 佐藤 博之

訃報

長野県理学療法士会の初代会長 伊藤求氏が令和4年10月18日にお亡くなりになりました。85歳でした。葬儀は親族により既に執り行われました。伊藤先生は、昭和46年の設立当初から昭和53年まで、4期8年にわたって会長を務められました。

1965年（昭和40年）に「理学療法士及び作業療法士法」が制定され、翌年、第1回理学療法士・作業療法士の国家試験が実施されました。全国の合格者は183名で、長野県では3名の方が合格されました。同年日本理学療法士協会が設立され、その後、各県でも県士会設立が加速していきませんが、理学療法士有資格者と長野県病院理学療法協会（以下県病理協）との利害関係の調整に苦慮され、1971年（昭和46年）に長野県理学療法士会が23名の会員により設立されました。この時の初代会長が伊藤先生です。このご苦勞は大変なものだったと思われま

す。また学術面では、県病理協との合同研修会を開催し、各分野を代表される先生方から最先端の知識と技術の獲得に努められました。また県に働きかけ、昭和49年には、特別養護老人ホーム機能回復訓練事業の長野県士会への委託や昭和53年には、長野県PT・OT奨学金制度確立にもご尽力いただきました。

昭和54年に開催された第5回関東甲信越ブロック研修会の開催にもご尽力いただき、「リハビリテーションにおける地域活動」をテーマに活発な討論がされました。

長年にわたり鹿教湯病院の技師長として、多くの後進の育成に尽力され、第一線で長野県の理学療法の発展に寄与されました。

1981年に士会賞、1989年に日本理学療法士協会賞、2010年に県知事表彰を受賞されています。

晩年は娘さんのいる静岡県清水町で穏やかに過ごされていたらっしゃいました。あらためて、伊藤先生のご功績に敬意と感謝を申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

（参考：長野県理学療法士会創立20周年記念誌、30周年記念誌、40周年記念誌）